



CD 02 087 ~ 090

# 雲取 [くもどり]

源氏雲のように、円弧を連続させた形を「取形」といいます。「雲取文」は、雲を名脇役として重層的な画面構成されたものです。雲のモチーフを使って、雲のなかに文様をおさめたり、雲の外に文様を配置したり、自由なパターンを使って主文様を際立ったり、応用範囲の広い文様です。

## ▶ 友禅染の彩雲

CD 02-090

雲の円弧が三日月になっています。どこまでも増幅できる重ね雲。雲のなかの絵柄など、発展させたい意欲にかられる雲取文です。

## ◀ 京友禅の雲取文

CD 02-087

モダンな感覚の意匠です。ドーナツ形の集合の結果で得られた雲の円弧が、自由な発展形を示唆しています。

## ◀ 京友禅の雲取文

CD 02-088

のびのびとした大ぶりの雲と、ワッペンを散らしたような細密な花模様の対比は、明るい歌が聞こえそうな幸福感にあふれています。

## ◀ 紅型の雲取文

CD 02-089

彩りが豊かで、ランダムな配置の雲は連続します。雲形を使うことで、無理のない、特徴ある色面構成になっています。

